

福島県相馬市の子どもたちが芦別の冬を楽しむ

平成30年12月24日から27日まで、福島県相馬市の小学生が芦別市を訪れました。

これは、東日本大震災・避難者受け入れ支援事業「北の大地に会いに行こう」の冬期コースとして星槎グループと市が主催し、7年前前から行っているもので、今回は小学3年生から6年生までの合

せて40人が参加しました。

一行は、フェリーとバスを乗り継ぎ、あしべつ宿泊交流センターに到着、歓迎式が行われました。期間中、子どもたちは星槎国際高校本部校敷地での雪遊びに興じたり、新十津川町のスキー場でスキー体験を行ったりするなど、冬休みの一日を満喫していました。



全道の中学生バレーボール選手が本市で合宿



第45回ジュニアバレーボールキャンプ2次キャンプが1月5日から11日までの間、市総合体育館を主会場に行われました。

中学生のバレーボール技術向上のため、北海道バレーボール協会が主催し、毎年本市を会場に行われているもので、今年も三つのグループに分かれ、女子43チーム

約450人、男子29チーム約290人、合わせて約740人が参加しました。

参加した中学生は、全道から集まったバレーボール指導者から、技術の基本から試合での戦術までみっちり指導を受けるなど、大きな声が会場に響き渡っていました。

安心安全、災害のないまちづくりへ、決意も新たに出初式

1月6日、平成31年芦別消防出初式が総合福祉センターを主会場に行われました。

消防職員・団員の連携協調を図り、資質向上と士気の高揚を目指すとともに、市民の皆さんに安全安心な地域づくりをアピールするための恒例の行事。

当日は、滝川地区広域消防事務

組合芦別消防署職員・団員合わせて約160人と消防車両11台が参加。市民が見守る中、一番街通りを分列行進した後、総合福祉センター駐車場で開会式が行われました。この後、総合福祉センターで各種表彰などが行われ、無災害と安全安心なまちづくりへの決意を新たにしました。



下の句かるたで3世代が交流、熱戦を展開



1月19日、芦別市世代交流下の句かるた大会が、総合福祉センターで開催されました。

芦別市青少年育成連絡協議会と老人クラブ連合会、下の句かるた愛好会が主催し、今年で12回目。

当日は、市内の小学生や歌志内市の小学生と老人クラブ会員の皆

さん、見学者など合わせて約40人が参加しました。

競技では、下の句かるた愛好会会員が歌を読みあげると、参加者は一斉に札に集中、めざす札を見つけると勢いよく手を伸ばすなど、真剣な中にも和気あいあいとした中で競技が行われました。